

世界の放送技術をリードした “ハイビジョン” と “緊急警報放送” が 「IEEE マイルストーン」に認定

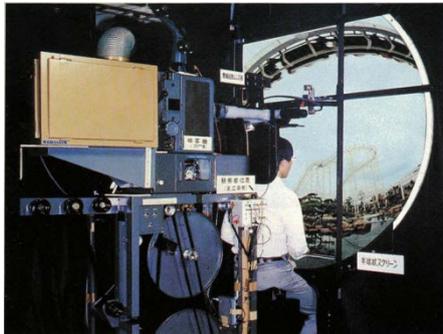
- NHKが開発した“ハイビジョン”と“緊急警報放送”が、「IEEE^{*}）マイルストーン」に認定されました。
- 「IEEEマイルストーン」は、電気・電子・情報の分野において、地域社会や産業の発展に多大な貢献をし、国際的に高い評価を受けてきた歴史的業績を表彰する制度として1983年に創設されました。
- 日本国内ではこれまで26件が認定を受けており、NHKも2011年に一般家庭が衛星から直接電波を受信する“直接衛星放送サービス”に関わる研究開発の業績で認定を受けています。今回でNHKが認定されたIEEEマイルストーンは3件になります。
- 今回の認定は、以下の功績がそれぞれ認められたものです。
 - 視聴者に高い臨場感をもたらす、高解像度かつ横長画面のハイビジョン放送システムに関する長年にわたる研究開発
 - 世界初となった1985年の緊急警報放送開始と、その実現に向けた長年にわたる研究開発
- IEEEによる認定を記した銘板の贈呈式は、5月11日に行われる予定です。

^{*}） IEEE（The Institute of Electrical and Electronics Engineers）：米国に本部を置く、世界160カ国以上にわたり43万人以上の会員を擁する電気・電子・情報・通信分野における世界最大の技術者組織

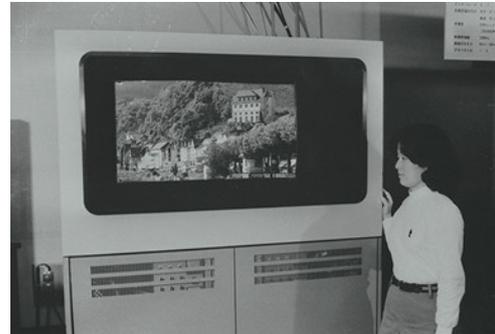
(別紙)

<ハイビジョン>

- NHK は、1964 年から高品位テレビに関する基礎研究に着手し、心理物理実験から機器開発まで広い分野での研究開発を進めました。
- 1989 年には衛星による世界初のハイビジョン定時実験放送を開始し、総走査線数 1,125 本、アスペクト比 16:9 の放送の基礎を築きました。
- 2000 年には 1,125 本方式が世界統一スタジオ規格となり、ハイビジョンは世界に広がっています。



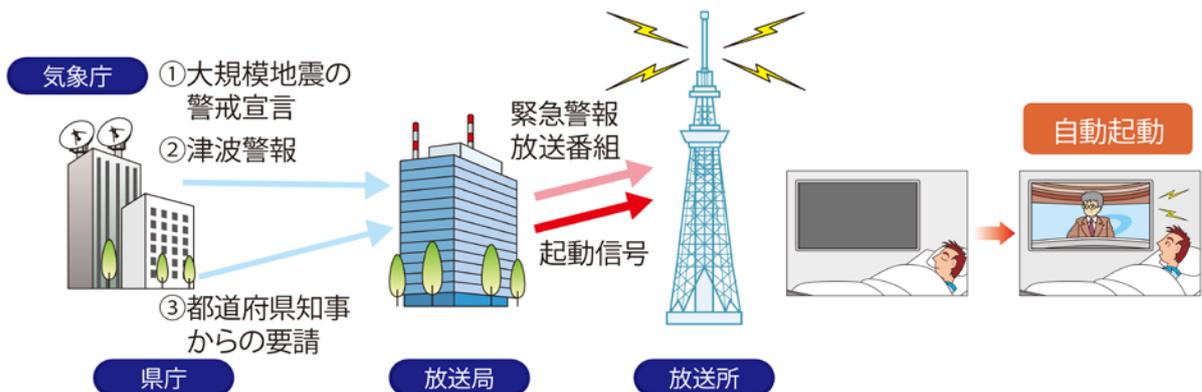
画角と臨場感の関係を調べる実験



1,125 本方式のワイドディスプレイ

<緊急警報放送>

- NHK は、大規模地震や津波などの際、自動的にテレビ、ラジオの電源を入れ、情報を伝える緊急警報放送を実現しました。
- デジタルテレビの世界的な標準化においても、衛星放送と地上放送の規格として採用されています。
- 緊急警報放送は現在も運用され、災害放送を支援しています。



(参考)

過去に認定された主なマイルストーン

● 日本

テーマ略称（記念すべき年）	贈呈式年	銘板設置場所
太平洋海底ケーブルTPC-1（1964）	2014年	KDDI本社 ハワイテレコム本社
G3 FAX国際標準化（1980）	2012年	NTT横須賀 KDDIふじみ野
電子式TVの開発（1924-1941）	2009年	静岡大学 電子工学研究所
日本語ワープロ（1971-1978）	2008年	東芝青梅事業所 研究開発センター
家庭用ビデオVHS（1976）	2006年	日本ビクター横須賀工場
電卓の先駆的開発（1964-1973）	2005年	シャープ歴史ホール
東海道新幹線（1964）	2000年	JR東海 リニア鉄道館
富士山頂レーダ（1964）	2000年	気象庁気象科学館

● 海外

テーマ（記念すべき年）	贈呈式年	国
Invention of Stereo Sound Reproduction（1931） 〔ステレオ再生〕	2015年	イギリス
Birthplace of the Bar Code（1948） 〔バーコード〕	2012年	アメリカ
Grumman Lunar Module（1962-1972） 〔月着陸船〕	2011年	アメリカ
Birthplace of the Internet（1969） 〔インターネット〕	2009年	アメリカ
Compact Disc Audio Player（1979） 〔CD〕	2009年	オランダ
Volta's Electrical Battery Invention（1799） 〔ボルタ電池〕	1999年	イタリア
Manufacture of Transistors（1951） 〔トランジスタ〕	1989年	アメリカ